

れんめい和歌山

令和3年度通常総会に向けて

第67号

発行者

和歌山県看護連盟
和歌山市太田4-11-18
リベラルパレス太田501
電話 073-488-6575
FAX 073-488-6580

発行責任者

石橋 隆子



2021・6 CONTENTS



カンタ

レンコ

「令和3年度 通常総会開催にあたって」	
和歌山県看護連盟 会長 石橋 隆子 …	2
「ご挨拶」 公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 東 直子 …	2
「コロナ禍における自民党和歌山県連青年局の活動について」	
自由民主党 和歌山県支部連合会青年局次長 和歌山県議会議員 川畑 哲哉 …	3
令和3年度 和歌山県看護連盟 通常総会プログラム ……………	4
令和3年度 和歌山県看護連盟 研修計画 ……………	4
令和3年度 和歌山県看護連盟 事業計画 ……………	5～6
研修会報告 「たかがい恵美子議員との研修会」に参加して ……………	7
青年部活動報告 「和歌山県議会の傍聴に青年部から2名参加」 ……………	8
青年部特集 「ZOOM 塾」を受講 ……………	9
「スポット紹介」……………	10
会報誌名公募 ……………	11
連盟からのお知らせ・編集後記 他 ……………	12



令和 3 年度 通常総会開催にあたって

和歌山県看護連盟 会長 石橋 隆子

連盟会員の皆様、日頃の活動に感謝いたします。昨年に続きコロナ感染症の拡大が報じられていますが令和 3 年度通常総会を予定通りの日程で開催いたします。昨年は日本看護連盟 60 周年となり、また「看護の日・看護週間」制定 30 周年とナース生誕 200 周年記念イベントとして NursingNow キャンペーンの事業にも参加いたしました。しかし、和歌山県としての総会を昨年同様少人数の参加で感染対策を充分配慮しての開催とさせていただく事になりました。各施設にはご案内をさせて頂いています。

看護の現場を担当していただいています施設や地域では大変なご苦労と思われます。感染対策でも大変な上にそれぞれのご家庭内でも多くの問題もあることと想像いたします。こんな中頑張ってくださっていることに感謝と敬意をお伝えいたします。あらゆる会議がリモートでの対応をはじめとした身の回りの変化が起こっています。何時、収束するのか、そして此のあとの社会がどう変化するのでしょうか、誰にも想像できないのが現状ではないでしょうか。しかし、この現状で看護に対する評価が見直されることにつながることを期待します。災いを福に変えるため、そしてその実現の為に連盟の果たす役割を考え会員の皆様と共に活動していきたいと思っています。是非、更なるご協力お願い致します。



ご挨拶

公益社団法人 和歌山県看護協会

会長 東 直子

新年度となり、各職場では新人を迎え、多忙な中にも活気ある日々をお過ごしのことと存じます。

皆様には、平素から看護協会事業へのご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、これまで経験したことのない世界的な蔓延状況にあり、県下でも医療や介護の最前線で生命を守り、暮らしを支えている看護職の皆さま、介護施設、行政はじめ医療関係者の皆さまに心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

和歌山県看護協会では、行政はじめ関係団体のご支援を頂きながら、看護の質向上離職防止、就業促進等に取り組んでおります。

2020 年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療現場・社会生活において想定外の大きな影響をもたらしています。現場の努力だけでは解決しない問題、新たな課題に対しては、政策として解決の道を探さなくてはなりません。日々の活動を通じた貴重な現場の声などが、重要な鍵となると考えています。

本年も、日本看護連盟の新スローガン「届けよう看護の声を！ 私達の未来へ」のもと

看護連盟と看護協会が一丸となって看護の課題解決、看護政策実現に向けて邁進していきます。



コロナ禍における 自民党和歌山県連青年局の活動について

自由民主党 和歌山県支部連合会青年局次長

和歌山県議会議員 **川畑 哲哉**

【青年】とは、フリー百科事典によりますと、「広く社会の中で自立を獲得していく時期」とあります。

私たち自由民主党和歌山県支部連合会青年局（鈴木太雄青年局長、中谷謙二青年部長）は、50歳までの県内の自民党所属地方議員により組織（自民党本部では45歳まで）し、党勢拡大や和歌山県勢発展に向けて活動をしています。

同時期に同じ県内で活動する同年代との対話を深めることで、青年団体ならではのより良い政治活動ができるはず、との当青年局としての思いから、一昨年より県内各種団体の青年部や青年層組織の皆様との連携強化に向けて着手し、昨年は和歌山県看護連盟青年部の皆様との交流も始めさせていただきました。

青年部役員の皆様には、岸本健県議会議長への表敬や本会議場見学にもお越しいただき、その後もオンライン会議等により様々な意見交換をさせていただきながら今日に至ります。

特にコロナ禍における医療看護現場の状況や従事されている皆様の生の声を聞かせていただき、私たちも大きな学びをいただきました。会議の中から不足物資等の新たな気づきがあり、青年部の皆様には県内各地各施設の不足物資について最新の調査をしていただくことにも繋がりました。そ

のご報告を基に、県当局への申し入れや提案をさせていただいています。

また、私が『『ヤングケアラー』への支援について』の一般質問で登壇した際には、役員の皆様に本会議場へ傍聴にもお越しいただきました。

そんな青年部の皆様の仕事や人生に向き合う真摯な姿勢には大変刺激を受けますし、そこからまた議員活動へのエネルギーが湧いてきます。

青年部の皆様との交流を今後より深めさせていただけると幸甚でございます。

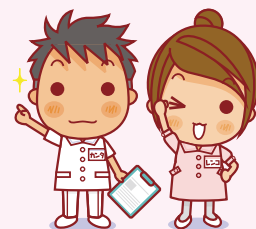
私たちも、「一人の人間としての幸せ」と「看護師としての充実」の両立に微力ながらお手伝いできますよう力を尽くして参ります。

県看護連盟の皆様には引き続き当青年局へのご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに皆様のご活躍と更なるご発展を心より祈念致します。

令和 3 年度 和歌山県看護連盟 通常総会プログラム

月日：令和 3 年 6 月 12 日（土）13 時～15 時 場所：勤労福祉会館プラザホープ 4 階ホール

12:30	開 場
12:50	オリエンテーション
13:00	開 会 物故会員への黙祷 挨拶 和歌山県看護連盟 会長 石 橋 隆 子 日本看護連盟会長 会長 大 島 敏 子（ビデオメッセージ） 参議院議員 高 階 恵美子（ビデオメッセージ）
13:15	議長団選出 報告事項 1. 令和 2 年度 通常総会報告 2. 令和 2 年度 日本看護連盟会議報告 3. 県役員・委員会委員合同会議報告 4. 令和 2 年度和歌山県看護連盟並びに支部活動報告 5. 令和 3 年度和歌山県看護連盟並びに支部事業計画 審議事項 第 1 号議案 決算報告並びに監査報告 第 2 号議案 令和 3 年度収支予算（案） 第 3 号議案 令和 3 年度役員選出（案） 新役員・退任役員紹介 綱領宣言
15:00	閉 会



進行上の都合により、時間が変更となる場合があります。



令和 3 年度 和歌山県看護連盟 研修計画

（状況に応じてリモート併用）

研修の種類	開催予定日	テーマ・内容	講 師	場 所	対 象	定員(名)
新役員研修会	7 月 2 日（金） 合同会終了後	看護連盟役員・支部長の役割と期待すること	和歌山県看護連盟 会長	和歌山県 看護協会 研修室 I	新役員 新支部長	
和歌山県看護協会 和歌山県看護連盟 合同研修 I	7 月 24 日（土） ① 13:30～14:00 ② 14:00～15:00	① 看護連盟活動における リーダーの役割・・・ 支部活動を活性化する ② 今後、看護職に期待され る看護活動	和歌山県看護連盟 副会長 福寿 和美 衆議院議員 木村 弥生	和歌山県 看護協会 大ホール	協会会員 連盟会員	50 *
和歌山県看護協会 和歌山県看護連盟 合同研修 II	8 月 28 日（土） 13:30～14:30	看護職から地方政治家を 目指した動機と現在の活動に ついて	舞鶴市会議員 田畑 篤子	和歌山県 看護協会 大ホール	協会会員 連盟会員	50 *
和歌山県看護協会 和歌山県看護連盟 合同研修 III	10 月 9 日（土） 13:30～15:00	看護教育カリキュラム改定 後、今後望まれる看護師像 について	東京医療保健大学 副学長 看護学科長 坂本 すが	和歌山県 看護協会 大ホール	協会会員 連盟会員	50 *
和歌山県看護連盟	9 月 25 日（土） 13:30～15:30	基礎研修 若手会員の連携促進 青年部活動 PR など	担当：青年部	和歌山県立 情報交流 センター ビッグ・ユウ	新人及び 若手会員	50 *
近畿ブロック協議会主催 看護管理者等 政策セミナー		看護管理者セミナー	未 定	未 定	協会会員 連盟会員	

令和3年度 和歌山県看護連盟 事業計画



重点方針

見える活動、行動する会員、確かな組織づくり

下線：新規事業

目的	目 標	方 針	活 動
政治力・政策実現力の強化	目標1. 看護職国会議員の選出・支援	1) 第26回参議院議員選挙における組織内候補決定の会議(総会)に参加する 2) 看護職国会議員の確保 3) 公職選挙法の遵守	① 後援会を立ち上げる ② 後援会の具体的活動を計画する ③ 候補予定者の知名度を向上させる ④ 次期衆議院選挙に向けて、岡山県看護連盟、京都府看護連盟の支援をする ⑤ 看護職国会議員の名前及び活動状況を広報する ⑥ 支部長を中心に「参議院選挙実践の手引き」を活用し、コンプライアンスに基づいた活動を計画する
	目標2. 看護政策の実現	1) 和歌山県看護連盟の政策実現力の強化 2) 現場の声の把握と改善 3) 新型コロナウイルス感染対策政策の推進	① 毎月の委員会活動の活性化を促す ② 県会議員との交流を通して政策提言を行う ③ ブロック別看護管理者政策セミナーに参加する ④ 国会議員の政策の説明会などに参加し連携を密にする ⑤ 各支部の施設訪問に協力をし、あらゆる手段で現場の声の把握に努める ⑥ 県会議員の「看護を考える会」との交流を通じ現場の声を伝える ⑦ 感染対策に関する現状把握をし、和歌山県看護協会や関係国会・県会議員等に情報提供をする ⑧ 県看護協会と連盟が協力し、地方議会・地方行政へ要望活動ができるよう情報提供する ⑨ 政策への成果を会員に知らせ、必要に応じて、会員や看護職への支援策を実践する ⑩ コロナ対策支援について与党に要望する
	目標3. 看護を理解する国会議員の確保と支援	1) 県選出の国会議員との連携強化	① 看護政策の実現に向けて、県選出の国会議員の事務所訪問を通じ現場の声を伝える ② 県看護連盟が支援している国会議員との連携状況を把握し、国会議員を支援する体制を強化する ③ 国会議員の活動状況を把握し支援する
	目標4. 地方議会、地方行政への影響力の強化	1) 「看護を考える会」の県会議員との交流及び連携 2) 地方議会、行政等との情報交換	① 支部ごとに県会議員との交流及び事務所訪問をし、現場の声を伝える ② 地方議員の要望行動を把握し、活動を支援する ③ 県議会の傍聴をして、県会議員の活動を知る ④ 地方議会、行政等への要望書を提出する。 ⑤ 地方行政の看護政策に関する情報を積極的に入手する。 ⑥ 看護政策実現のために地方行政への働きかけをする。
	目標5. 地方議員の擁立と支援	1) 各支部選出の地方議員・県議・市議・町議・首長選挙への協力	① 自由民主党和歌山県支部連合会推薦者への推薦状贈呈 ② 地方議員の選挙運動に支部役員及び会員が支援をする ③ 地方議員の活動に支部役員、会員が積極的に参加する ④ 第25回参議院選挙の結果から、選挙の支援の在り方を検討する
組織力の強化・拡大	目標1. 看護連盟・看護協会の連携・協働のさらなる推進	1) 和歌山県看護協会との連携強化	① 県役員会・委員会委員合同会議に協会長の参加を依頼し、看護協会の政策について発言を求め、政策委員会での実践に活かせるよう計画に参画してもらう ② 看護協会・看護連盟の合同研修で、看護協会の方針の説明を依頼する ③ 看護連盟と看護協会の三役会議を提案する
	目標2. 広報活動の強化充実	1) 会員に向けた広報活動の充実・強化 2) インターネットを活用した有効な情報発信 3) 選挙活動に有効なインターネット広報ツールの構築	① 支部会議の活発化 ② 広報委員会の活動で、HPの充実を図る ③ 広報委員の活動で機関紙・HPの充実を図る ④ Zoomを使いこなせるための研修を実施する ⑤ 年代別の広報ツールを併用し、幅広く会員に情報提供する ⑥ 議員の活動報告・トピックスをリモートを活用し広報する ⑦ Web版アンフィニの登録数を促す ⑧ Web版アンフィニの動画や画像を閲覧するよう促す ⑨ 効果的なSNSの活用について学ぶ機会を設ける ⑩ 候補予定者事務所と日本看護連盟の選対委員会、広報委員会、青年部活性化委員会と連携を図る ⑪ 看護職国会議員のSNSの認知度を高め、フォロワーになるよう促す ⑫ 公式HPやWEB版アンフィニ、SNS等に看護職国会議員SNSをタグ付けし、拡散する ⑬ 役員、地区支部長、施設代表者などの登録数を増やし広報ツールを活用する
	目標3. 看護連盟の活動の強化および周知徹底	1) 日本看護連盟・県看護連盟との情報の共有化 2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進	① 日本看護連盟のHPより情報を得る ② ブロック協議会に参加し情報共有する ③ 未入会者及び連盟会員に対し連盟活動の理解を深め、各級選挙に積極的な参加を促す ④ 感染対策を考慮し、効果的・効率的な会議・研修を企画する

目的	目 標	方 針	活 動
組 織 力 の 強 化 ・ 拡 大	目標 3. 看護連盟の活動の強化 および周知徹底	3) 定例会議の有効利用と計画 4) 県・支部それぞれの研修の実施	③ 新基礎研修資料を、新人会員・未入会者層の研修や集会で活用する ④ 看護職国会議員のビデオメッセージ、国政報告等を活用する ⑤ 効果的に支部長研修を実施する ① 県・支部の活動報告と計画の共有化 ① リモート・対面の利用で県・支部と協力をして研修を実施する
	目標 4. 会員の確保対策	1) 会員目標を 1,800 名とし、協 会員 30 %の加入をめざす。 2) 看護連盟入会の促進・退会者 の防止 3) 若者層、学生会員の確保 4) OB の活性化 5) <u>会費の納入方法の検討</u>	① 年間を通じて研修及び施設訪問など連盟活動の広報を図り、加入を勧める ② 協会との合同研修の実施で、加入を勧める ① 県看護協会会員の連盟加入を促進する ② 国公立病院や看護系大学等の会員増に向けて、看護協会と検討し協力を得る ③ 医療機関以外の施設で働く看護職員へ入会を働きかける ④ 看護連盟未加入者及び看護協会会員の多い施設に対し、会員確保に向けた交流の機 会を作る ⑤ 他団体と連携を持ちながら、会員確保を働きかける ⑥ 定年退職者、産休・育休者、中途採用者に連盟入会と継続を働きかける ⑦ <u>賛助会員を増やす</u> ① 看護基礎教育の教育内容に「看護政策」を取り入れるよう働きかける ② <u>連盟役員等が講演や講義を担当する際に、看護政策や看護連盟について必要な情報を 提供する</u> ③ 各都道府県の学生会員の入会状況を把握し、増員策を検討する ④ 新入職員、中途採用者に対して連盟入会を周知する ⑤ 青年部活動を支援し、学生に働きかける ① OB を支部組織として活性化するように支援する ② OB、関連団体の内容を検討し、開催支援を検討する ① 本部の会費納入方法の検討、情報を得て、意見を伝える
	目標 5. 日本看護連盟の効率的 な組織運営	1) 合同会議において支部長の意 見を常に取り入れ検討をする 2) 財政等の健全化と適正化	① 合同会議で全員が発言する機会をつくる ① 費用対効果を見極め、活動の活性化を図る
	目標 6. ブロック協議会の活動 強化・促進	1) ブロック協議会への参加	① ブロック別看護管理者等政策セミナーに参加者する ② 合同会議で中央役員会の情報を伝える。支部長の意見をブロック会議にも反映する
	目標 7. 支部組織の活動の強化・ 促進	1) 支部組織の強化・支部役員・ リーダーの意識の強化 2) 各支部会員のモチベーション の強化	① 役割を発揮できるリーダーを育成する ② 各支部ごとの研修・ミニ研修の実施状況を集約し、研修会の傾向と対策を検討する ③ 支部施設、部署管理者の理解を深め、支援や協力を得られる対策を検討する ① 県において看護職国会議員・地方議員等によるミ修会（医療・看護を語り合う会等） を開催し、国会議員・地方議員等との交流を深める
	目標 8. 若手会員の育成	1) 若手会員の活性化の促進 2) 会員確保・選挙運動における 青年部活動の推進 3) 青年部活動委員会の活動を支 援する	① 青年部の代表者は、役員会議・支部長等会議・ブロック別政策セミナーなどの各種 の会議・研修会等に出席し、リーダーとしての能力を発揮する ① 青年部代表が都道府県別会議に参加する ② 役員・委員等に若手会員を登用する ③ 青年部が研修講師を積極的に努める ④ 政党等が実施する青年部研修会等に積極的に参加する ① 各支部に青年部組織を確立する ② 青年部活動を通じ若手会員の政治活動への意識を高める
	目標 9. 関係団体・関係組織と の連携・強化	1) 看護協会以外の関係団体との 交流の促進 2) 看護・介護との交流の促進	① 支援団体（病院協会、歯科技工士、薬剤師）との交流の機会をつくる ③ 支援企業（坂口印刷、東洋羽毛、紀ノ国信用金庫など）との交流の機会をつくる ④ 医療系・介護系団体との連携を図る。 ① 訪問看護連絡協議会との交流 ② 介護福祉士会へ働きかけ ③ 精神科看護協会への働きかけ
会 員 の 福 祉 の 充 実	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援	① 県の災害時の情報を日本看護連盟本部に報告をする ② 県看護連盟、県看護協会からの情報収集をタイムリーに行い、被災地の現場の声を 国会議員に届け支援協力を要請する ③ 災害見舞い、支援金等の支援について、本部の指示に従う
	2. 福利厚生への対応	1) 日本看護連盟内規に基づく対応	① 名誉会員・叙勲等受章者への対応、を行う ② 慶弔・物故者への対応
	3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証	① コンプライアンス（法令遵守）に基づく政治活動、選挙運動のための情報交換を行う ② 諸般の疑問・問題には、専門家や顧問弁護士と相談し速やかに解決する

研修会報告



「たかがい恵美子議員との研修会」に参加して

和歌山県看護連盟 委員会委員 丸田 美佐子

令和3年2月6日(土)第2回たかがい恵美子参議院議員研修「看護と政治」、というテーマで和歌山県 JA ビルにて開催された。本研修は、コロナ禍であるため、リモートでの開催となった。

まず、看護連盟石橋隆子会長からの挨拶があり、続いて、たかがい議員の活動報告があった。たかがい議員の活動報告では、入職3年の野党時代のときに経験した東日本大震災の話が出た。その中で、災害での対応・ご遺族へのケア・看護学生への対応などの活動を振り返り、看護を知っている自分だからこそできたことを話され、時折、当時のことを思い出し、涙されるところもあった。

与党となり、昨今の活動では、コロナ対策でしっかりとした保障・社会的支援を訴えていることをあげていた。「ある病院では、折角、慰労金を獲得したが、ボーナスカットして穴埋めしているようでは、何をしているか分からない。そんなことを自分達が声を上げなければ、いけない。外来患者が減ったから、給与カットということでは、弱り目にたたき目である。第2次補正予算も7割しか使われていない」ということを説明されていた。石橋連盟会長からも「地方議員と和歌山看護連盟で交流会をもつことにより、看護が政治に具体的に働きかけることが重要であることがわかった」ということを話された。

たかがい議員から、ある訪問看護ステーションでは、従業員が安心して仕事を遂行できるように、PCR 抗原検査簡易キットを購入して、定期的に検査している。という例をあげ、『PCR 検査を定期的にして欲しい』ということ、現場の看護師が、政治にもっと声をあげていかなければいけないのではないかということ指摘されていた。

たかがい議員の政治活動10年を経た今、「自己の足跡は無駄になってはいない」ということを話され、最後に「政治の場にいるが、気持ちは皆さんと一緒に」と力強く述べられ、研修会を締めくくった。

限られた時間での研修であったため、たかがい議員の国会活動内容については、ビデオライブラリー、ホームページなどでも配信しているので、参考にしてもらえればと話された。



青 年 部 活 動 報 告

和歌山県議会の傍聴に 青年部から 2 名参加させていただきました。

2021 年 3 月 9 日

ケアラーへの支援についてや、コロナウイルス感染症対策についての議論を直接見学させていただきました。

ヤングケアラーについての議論のなかで、成人未満の若い世代が、おじいちゃんやおばあちゃんの在宅介護を行っている方がいるということを改めて認識し、勉強や部活だけでなく、介護も行わなければならない多忙な学生もいるということが看護師としても問題の一つなのではないかと感じました。

今回傍聴させていただくまでは、実際、県会議員の方々がどのような取り組みを行い、どのように地域や医療、福祉に対して行動を起こしてくれているか、ということがあまり分かっていない部分もありました。しかし、県議会を傍聴させていただいたことにより、私たち市民、県民の為に多くの場面で協力してくれているんだと、改めて感じることができました。

そして、そのような議員の方々を選ぶことが、私たち市民のおおきな役割の一つなんだと感じました。

県議会の傍聴にご興味のある方は、和歌山県議会ホームページよりご確認ください。

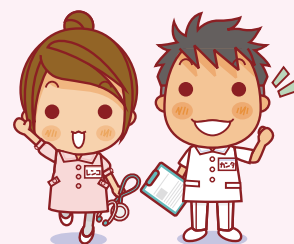


和歌山県議会ホームページ ▶





青 年 部 特 集



Powered by 日本看護連盟 青年部活性化委員会

zoom 塾

2021年3月27日(土)

第一部「環境整備」編
9時30分～11時30分

第二部「基礎」編
12時30分～14時30分

第三部「実践」編
15時00分～17時00分

日本看護連盟
JAPANESE NURSING FEDERATION

和歌山県看護連盟 和歌山第3支部青年部

浦野 恵美

3月27日、青年部活性委員会主催「ZOOM 塾」を受講しました。コロナ渦の現在、研修や会議はオンライン化が進んでいます。例年であれば基礎研修をはじめ様々な研修を実施すべきではあるのですが、昨年度から実施できていないのが現状です。新型コロナウイルスは私たちの仕事や生活のスタイルを大きく変えており、研修や会議のあり方も見直していかなければなりません。青年部では新型コロナ流行当初から会議はオンライン化していましたが、オンライン研修には着手できておらず、ZOOMでの研修・会議の開催は青年部として取り組むべき課題といえます。

「ZOOM 塾」では、ネット環境の整備から設定、会議の進め方や資料の共有方法等を学びました。全国の支部から約100名が参加し、研修開催のためにすべきことは何か質疑応答をしながら今後の展望を考える機会となりました。現状、ZOOMを利用したことがない方も多いため、まずは気軽に参加できる研修を企画し、オンライン会議や研修に主催者・参加者ともに慣れていけるよう頑張っていきたいと思っています。

青年部特集



スポット紹介

熊野本宮大社
(田辺市)

熊野本宮大社

アクセス

和歌山県看護連盟 和歌山第一支部青年部

山本 慶太

和歌山第1支部の山本です。

今回は僕の愛してやまない熊野三山特集です！

皆様「熊野三山」をご存じでしょうか？

熊野三山とは「熊野本宮大社」「熊野速玉大社」「熊野那智大社」の三社を指します。「那智山青岸渡寺」の一寺を含む場合もあります。

今回は「熊野本宮大社」のトピックです！

熊野本宮大社は熊野三山（本宮・速玉・那智各神社）の中心、全国に4700社以上ある熊野神社の総本宮です。お住いの地域にも熊野〇〇神社等の分社があると思います！探してみても面白いかもしれませんね！こんな神社があったよなど教えていただけると嬉しく思います！

熊野本宮大社の主祭神は、家津美御子大神（スサノオノミコト）です。スサノオノミコトという名前は1度は聞いたことがあるかと思います！神話の中の、ヤマタノオロチを退治したことが有名なお話ですね。

熊野本宮大社のご利益には金運アップ、勝負運アップがあります。スサノオノミコトの正義感や勝負強さを感じることができるかもしれません。また、全国的にも強烈なパワースポットでもある熊野本宮大社に訪れてみてはいかがでしょうか？

僕は毎年、熊野三山を巡り、パワーとやる気を頂いています。

熊野速玉大社、熊野那智大社も紹介していきますので次回以降の機関紙も楽しみにしておいていただけると幸いです。

阪和自動車道～紀勢自動車道「上富田IC」から車で約1時間15分



会報誌名公募

和歌山県看護連盟会報誌『れんめい和歌山』をより親しみやすくするために
会報誌名を変更することになりました。
そこで会員の皆様に新たな会報誌名を募らせていただき決定させていただきます。

採用させていただきました方には
和歌山県看護連盟 石橋隆子会長より



図書券 10,000円分を進呈！

ぜひ、素敵な会報誌名を応募してください。よろしくお願いいたします。

応募方法

- 件名：会報誌名募集
- 広報誌名、氏名、住所、電話番号を記載の上、
E-mail または Fax で連盟事務所までお送り下さい。

Email : kangorenmei-wakayama@titan.ocn.ne.jp

Fax : 073-488-6580

- 応募期限：令和3年7月31日



和歌山県看護連盟 広報委員





連盟からのお知らせ



看護連盟の活動を支えるのはあなたです。

会員一人ひとりの行動が、目的達成の原動力、
あなたの参加を期待します。



日本看護連盟は、国民の健康の守り手として働いている、保健師、助産師、看護師、
准看護師の団体です。日本看護協会の会員であれば、誰でも連盟会員になれます。

和歌山県看護連盟に
あなたも **入会** しませんか？



和歌山県看護連盟では、令和 3 年度の
会員・特別会員・賛助会員の入会を受
け付けています。多数の入会をお待ちし
ています。



会員の皆様のご支援とご協力により会報誌第 67 号を発刊することができま
した。今回紙面でも取り上げていますように会員の皆様に、より親しみやすく
するために会報誌名を一新したいと考えています。内容においても会員の皆
様に喜んでいただけるような会報誌作りを心がけてまいりますので今後とも
よろしくお願いいたします。

広報委員一同



東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

＊——— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです ———＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が
講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な
毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《お役に立てる主な研修》

- ★ 医療安全対策研修
- ★ メンタルヘルス研修
- ★ 学校保健委員会
- ★ 高齢者の睡眠ケア



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所 和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2



お気軽にお問合せください。

0120-32-7766